

マロン マインドカラー

<使用説明書>

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- 非酸化染毛剤はまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

**1剤と2剤を
混合しないで
ください。**

1剤2剤は別々に
時間をおいて使用します。

医薬部外品 内容量 1剤 70g・2剤 70g

ヘンケルジャパン株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8

使用方法、その他についてご質問がありましたら、
お客様相談室まで、お問い合わせください。

お客様相談室 ☎0570-032525

受付:土・日・祝日を除く10:00~12:00/13:00~17:00

AF.A

色調

- ※N・Sはいずれも紫色から濃い青を感じる色味に染め上がります。
- ※染め上がりの色はご使用前の髪色や髪質、ご使用時の室温によって変わります。また、褪色の色味も髪質によって変わります。
- ※B(明るいブラウン)は黒髪を明るくすることはできません。白髪を明るく染め上げます。
- ※暗い色を使用した上から、B(明るいブラウン)を重ねても明るくなりません。

	N	S	B
色調	自然な黒褐色	ソフトな黒褐色	明るいブラウン

マロン マインドカラーは1回目には染まりにくいことがあります。回数を重ねるにつれて、よく染まるようになります。次回もマロン マインドカラーのご使用をおすすめします。

ヘアカラーをするときのご注意

- パーマをかけている方がマロン マインドカラーで染毛する際は、染毛でウェーブが伸びることがあります。
- 一般の染毛剤(ジアミン系の白髪染め)が使えない方でも使えます。

この製品で染め重ねた髪に一般の染毛剤を使用しないでください。地肌に刺激を感じたり、髪をいためたりすることがあります。

- ※逆にこれまで一般の染毛剤をご使用の方が、マロン マインドカラーを使われることは、さしつかえありません。
- 1箱でセミロング程度の髪まで染められます。毛量の多い方は2箱ご準備ください。

パーマをかけるときのご注意

- 染毛の前後1週間はパーマをかけないでください。
- 理美容室にマロン マインドカラーで染毛されていることをお知らせください。(この説明書を美容院にご持参の上、下記の枠内をお示しください。)

理美容室の技術者の方へお願い

- マロン マインドカラーで染めた髪は、パーマがかかりにくいので、1~2段階細めのロッドを使って施術してください。
- マロン マインドカラーで染め重ねた髪ほど、ウェーブが出にくくなりますので、ご注意ください。
- マロン マインドカラーで染め重ねた髪に過酸化水素タイプ2剤のパーマ剤を使用しないでください。地肌に刺激を感じたり、髪をいためたりすることがあります。

使用上のご注意

1. 次の方は使用しないでください

- ①今までに本品に限らず非酸化染毛剤でかぶれたことのある方
- ②染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2. 使用前のご注意

- ①染毛の2日前(48時間前)には下記の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ②頭髪以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。
- ③眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、

刺激等を受けやすくなります。

- ⑤染毛の前後1週間はパーマウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

3. 使用時のご注意

- ①換気のよいところで使用してください。
- ②必ず添付の手袋を着用してください。
- ③染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やすすく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。
- ⑤薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすること

があります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。

- ⑥染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑦染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

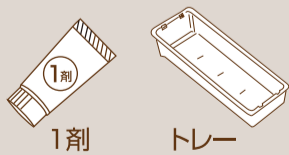
4. 保管上のご注意

- ①幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ②高温や直射日光をさけて保管してください。

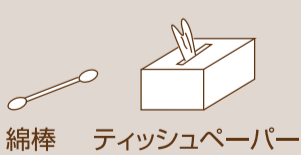
皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)時に必要なもの

箱の中に入っているもの



ご用意いただくもの

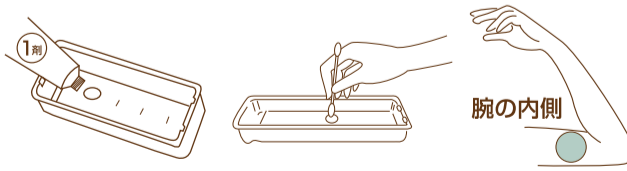


染毛の2日前(48時間前)には、毎回必ず行ってください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は、アレルギーの有無をチェックするための簡単なテストです。ある食品、化粧品、医薬品などでアレルギー反応をおこす人がいるように、ヘアカラーでアレルギー反応をおこす人がまれにいます。ヘアカラーのアレルギー反応は、初回の染毛時のテストで異常が認められなくても、何回目かに初めて異常が認められる場合もあります。染毛のたびに毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

1 テスト液をつくります。

- マロン マインドカラー1剤のごく少量(2剤は必要ありません)を、トレーの上にだします。



2 テスト液ができたら、腕の内側に10円硬貨大にうすく塗り、自然に乾燥させます。

- テスト液が乾燥するまで、衣服につかないようご注意ください。30分くらい放置しても乾かない場合は、テスト液のつけすぎですから、余分なテスト液をティッシュペーパーなどで軽く拭き取ってください。
- テストをした当日は、なるべく入浴しないでください。やむをえず入浴する場合は、テストの部位をぬらさないでください。

3 そのまま触れずに48時間放置します。(時間を必ず守ってください。)

4 テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回は必ず行ってください。

- そのとき、塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手などでこすらないで、直ちに洗い落とし、染毛しないでください。
- 途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト液を洗い落として、染毛しないでください。
- かぶれた部位などは手などでこすらず、すぐに皮膚科専門医の診療を受けてください。

5 48時間たって異常がなければ、すぐに染毛してください。

- ※日をおくと体質が変わることがあります。皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は毎回必ず染める前に行ってください。

準備が
できたら
裏面に



ご使用前の準備

マロン マインドカラーは、1剤と2剤を別々に時間をおいて使用する製品ですから、塗布前に1剤と2剤を混合しないでください。

※まれに、しぼり出した1剤が一部褐色に、2剤が灰色に変色していることがありますが、染毛効果に影響はありません。

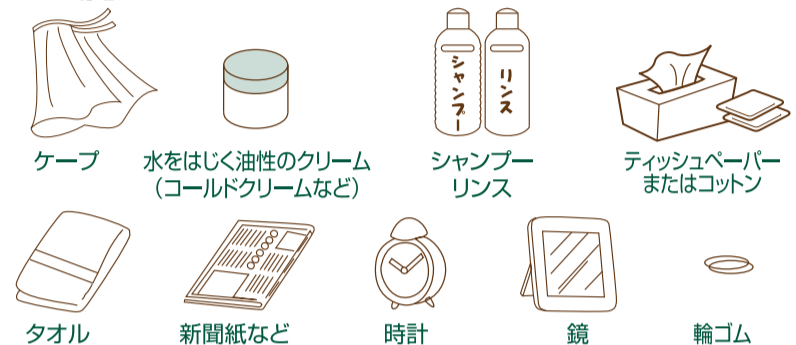
必要なものの準備

○箱の中に入っているもの



1剤 2剤 使用説明書 手袋 コームブラシ トレー

○ご用意いただくもの



ケープ 水をはじく油性のクリーム (コールドクリームなど) シャンプー リンス ティッシュペーパー またはコットン タオル 新聞紙など 時計 鏡 輪ゴム

髪の状態

○前洗いの必要はありません。ただし髪の汚れのひどいとき、カラーズプレーなどの一時染毛料や多量の整髪料などをご使用のときは、前日に洗髪しておいてください。

身じたく

※薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、充分注意してください。

○汚れてもかまわない前あきの服装に着替え、首にケープかタオルをかけます。

○床などが汚れないように新聞紙などを重ねて敷きます。

○はえぎわや耳や首に薬剤がついて着色するのを防ぐために、コールドクリームなどを塗っておきますと、ついても落とすしやすく便利です。ただし、コールドクリームが髪につくと、染まりにくくなりますのでご注意ください。

○爪も髪と同じように染まりますから、添付の手袋をはめてお使いください。このとき手首を輪ゴムでとめておくと操作しやすくなります。

○メガネ、イヤリング、ピアス、ネックレス、指輪は、はずしてください。

○寒いときは、なるべく暖かい部屋で染めてください。

コールドクリームなどを塗っておきます。



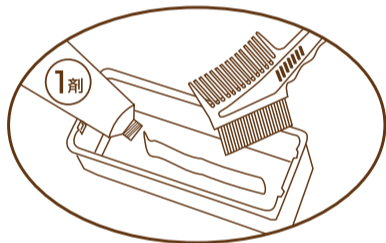
ケープかタオルをかけます。

手袋をして輪ゴムでとめます。

ご使用方法

1 1剤を塗る

1 1剤を必要量だけトレーにしぼり出します。



はえぎわなど、白髪の多い部分から塗りはじめます。髪をコームブラシのスライス部分で小分けしながら、髪全体に塗ります。なお、後頭部などブラシで塗りにくいところは、直接手指で、もみこんでください。塗り終わりましたら、均一になるように、コームで髪全体によくのばしてください。

2 1剤を髪に塗ります。



3 そのまま約15分放置します。



ビニールキャップをかぶった方が効果的に染まります。

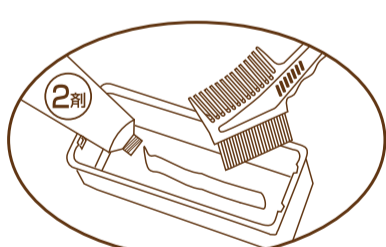


染める時のご注意

- ※クリームが顔や皮膚についたときは、すぐに水で湿らせたティッシュペーパーなどで拭き取ってください。
- ※金属製のヘアピンやクシなどは、使用しないでください。
- ※室温(標準20~25℃)の低いとき、また太くて硬い髪の方は、染まりにくいので髪に1剤を塗ってから標準(15分)よりも5~6分長く放置してください。

2 2剤を塗る

1 1剤と同量の2剤をトレーにしぼり出します。



トレーに残った1剤は、ティッシュペーパーなどで拭き取ってから、先に塗った1剤と同量の2剤をしぼり出します。

2 2剤を髪に塗ります。



3 そのまま約15分放置します。



※2剤塗布時はビニールキャップは必要ありません。

1剤を塗ったときと同じ要領で塗ります。2剤を髪に塗ると、紫色~濃い青色になります。しっかりと染毛するため、**2剤は必ず1剤と同量塗ってください。**ムラにならないように、なじませます。



分割して使用される場合

- ※1剤・2剤のキャップは、まちがえないようにそれぞれ元のチューブにしっかりとめて、高温の場所を避けて保管してください。
- ※コームブラシ、トレー、手袋をぬるま湯でよく洗って保管してください。
- ※2回目からも染毛の前には毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
- ※2回目以降のご使用の際、薬剤の先端が黒くなっていることがありますが、染毛効果には影響ありません。

3 洗い流す

洗い流し、よく乾かします。

放置時間がすぎたら、ぬるま湯で十分にすすぎ、シャンプー・リンスをして仕上げます。汚れてもかまわないタオルで拭いてください。※頭皮についた色が落ちないときは、レモン水か、うすめた食酢をふくませたティッシュペーパーまたはコットンで拭き取ってください。



洗髪・乾かす時のご注意

- ※洗髪時の洗い液が目に入らないよう、特にご注意ください。
- ※目に入ったときはすぐに水またはぬるま湯でよく洗い、眼科医の診療を受けてください。自分の判断で目薬を使用しないでください。
- ※髪は十分に乾かしてください。半乾きの状態では枕カバー、衣服等に色がつくことがあります。



使用後のご注意

- ※再度本品を使用される場合は、髪や地肌への負担を考え1週間以上の間隔をおいてからご使用ください。
- ※次のような場合には、衣類、帽子、枕カバーなどに色移りすることがありますのでご注意ください。

- 髪がぬれているとき。(運動などで多量の汗をかいたとき、雨にぬれたとき、洗髪後など。)
- 育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォームなどの頭髪用品を多量に使用したとき。

<2回目からの染毛の場合>

- 新しく伸びた部分や、白髪の多い部分に、ブラシでたっぶりにつけてください。
- すでに染まっている部分には、あまりつけないでください。
- あとは、1回目と同じ要領でご使用ください。